

平成27年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	防犯ボランティア支援事業の推進			担当部局庁	生活安全局		作成責任者		
事業開始年度	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	生活安全企画課		生活安全企画課長 田中 勝也		
会計区分	一般会計			政策・施策名	市民生活の安全と平穏の確保 1 総合的な犯罪抑止対策の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	「世界一安全な日本」創造戦略 (平成25年12月犯罪対策閣僚会議決定・閣議決定)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「犯罪の起きにくい社会」を実現するために、防犯ボランティア活動を幅広い世代の参加を得たものへと発展させ、地域のシステムとして定着化を図り、活動の更なる活性化を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自主防犯活動の一層の活性化と定着化を促進するため、防犯ボランティア活動の裾野を広げ、質の向上を図ることを目的としたフォーラムを開催し、先進的な活動を行う団体の活動内容を全国に発信する。また、自主防犯活動を持続可能なものとして維持・強化するためニーズに応じた活動支援策を検討する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	7	6	24	23	9		
		前年度から繰越し	0	0	0	0			
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0			
		予備費等	0	0	0	0			
		計	7	6	24	23	9		
	執行額	5	5	18					
	執行率(%)	71%	83%	75%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	
	防犯ボランティア活動の活性化・定着化	防犯ボランティア団体数	成果実績	団体	46,673	47,084	47,532	-	年度
			目標値	団体	45,672	46,673	47,084	47,532	
			達成度	%	102.2%	100.9%	101%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	防犯ボランティアフォーラム等の開催回数	活動実績	回	6	6	12			
		当初見込み	回	6	6	12	12		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	年間執行額 / 防犯ボランティアフォーラム等の開催回数	単位当たり コスト	千円	832	785	1,471	1,892		
		計算式	年間執行額 /開催回数		4,990千円/6回	4,710千円/6回	17,658千円/12回	22,699千円/12回	
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	外部委託	22.7	9	事業内容の変更(個別に手続きを行っていたものについて、一括して業者へ委託)により予算額が削減された。					
	計	22.7	9						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	防犯ボランティアの活動は社会における安全・安心の確保において大きな役割を果たしてきたものであり、この活動を活性化させ、持続可能な活動としていくことは国民の求めることである。本事業の一環として行った市民アンケートにおいても、防犯ボランティア活動は大部分の回答者から肯定的な評価を受けている。なお、事業の目的や国民・社会のニーズを踏まえ、平成24年度において大幅な内容の見直しを行ったところ。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	団体の活動や運営に関する優れたノウハウ等を知るためには、先進的な取組を行う全国の団体と意見交換等を行うことが効果的であることから全国規模で実施するものである。また、防犯に関する専門的知識が求められることから警察において実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「世界一安全な日本」創造戦略において、防犯ボランティア等の「安全形成システム」を持続可能な形で強化・補完することが重要な課題とされており、当該事業の優先度は極めて高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により、支出先を決定しており妥当である。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により、適切なコストで契約している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	防犯ボランティア団体を支援するためのワークショップ開催費等、必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	昨年度より事業の見直しを実施し、支出先を1本化するなど効率的に実施された。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	前年度と比較し団体数等が増加している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込み通り実施している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	防犯ボランティアフォーラムの発表内容や防犯ボランティア団体の活動上の課題・解決方策等をとりまとめた中間報告書を都道府県警察を通じて各地域の防犯ボランティア団体に還元し、団体活動の参考とされている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	当該事業については、一般競争入札により決定しており、コスト面については適正なものとなっている。また、防犯ボランティア団体については、前年度と比較して増加している。	
	改善の方向性	一般競争入札により競争性は確保されているところであるが、今後も引き続き、効率的な運用に努める。また、当該事業により防犯ボランティアの団体数は増加しているものの、活動上の課題も見られることから、今後は課題の解決を図り、持続可能な活動とするために必要な支援を検討・実施していく。	

外部有識者の所見

引き続き、執行における競争性・透明性の向上を図ること。

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

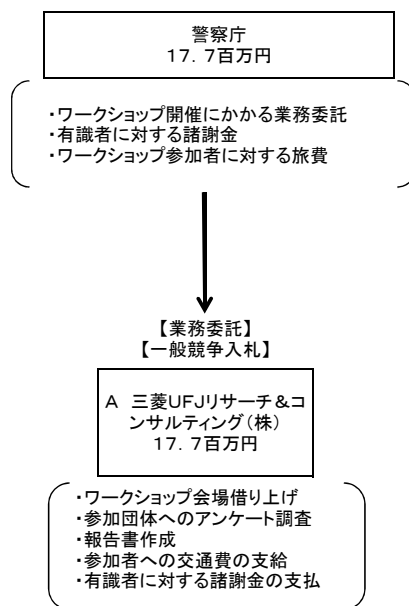
執行に当たっては、一般競争入札を行うなど、競争性・透明性を十分に確保している。また、平成28年度概算要求については、事業内容を精査した上で要求している。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	14-1	平成23年度	10	平成24年度	6		
平成25年度	1	平成26年度	1				

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	持続可能な安全・安心まちづくりの推進方針に係る調査研究委託費	17.7			
計		17.7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	持続可能な安全・安心まちづくりの推進方策に係る調査研究	17.71		-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					